

公益社団法人

NEXT VISION

団体概要

# Our VISION

## 支えられる側の人たちを、 支える側の人たちに。

支えられる側の人たちを、支える側の人たちに。

これは勤労人口減少に苦しむ日本の大きな国家テーマであり、我々NEXT VISIONが担う使命であります。

医療の進化によって、昔なら亡くなっていたはずの方々が命を取り留める、といった例が急増しています。今後は再生医療を筆頭とするいわば医療革命によって、さらに人類は病気に打ち克っていくことができるでしょう。

しかし同時に、これは障害者の急増をも意味します。100%完璧な治癒ではなく、何らかの障害を抱えながら生きていく、という方もどんどん増えていくからです。

医療費や社会保障費の増大に歯止めをかけることが国民全体の喫緊の課題である中、障害者それぞれに最適な形での職場復帰、社会復帰を提供しなければいけません。

それは彼らをも含む国民全体の喜びであると我々は信じています。

その第一歩が「視覚障害者」です。

視覚障害者の中で全盲の方は1割程度に過ぎず、ほとんどのの方々のハンデは見え方の一部であって、適切な治療と根気よいロービジョンケアによって、社会の中で十分に活躍できるポテンシャルを秘めています。

たとえ全盲であっても、たとえば同時通訳などで健常者より高いスキルを発揮される方も多くいらっしゃいます。

ところが残念なことに社会の誤った認識によって、視覚障害者という「レッテル」を貼られたとたん、できるはずの職を失うばかりか、路上で詐病と罵倒される、意地悪をされるといった、迫害に近い扱いを受けているのが実態です。

NEXT VISIONは、研究・治療・ロービジョンケア・リハビリ・社会復帰を一気通貫で解決することによって、視覚障害者の社会復帰を進めてまいります。

# 事業内容

## ■ 目的

- 視覚障害者の日常生活・就労など社会参加活動等に対する様々な支援
- 視機能の向上・回復のためのリハビリテーションおよび必要となる技術開発と支援
- 眼科領域における調査・研究・検査を行うことにより、すべての視覚障害者の福祉向上と科学技術の発展に寄与すること

## ■ 事業内容

1. 視覚障害者の社会参加活動に対する支援事業
2. 視覚障害者のリハビリテーションに対する支援・技術開発事業
3. 眼科領域における調査・研究・検査事業
4. 視覚障害を有する者および眼科領域における教育を必要とする者への奨学金等の給付・貸付事業
5. 視覚障害を有するスポーツ・芸術その他の活動を行う者への活動支援事業
6. 視覚障害および福祉に関する指導・教育活動
7. 視覚障害者の支援に必要なボランティアの募集・教育・派遣事業
8. 視覚障害者支援団体に対する施設等の貸与事業
9. 視覚障害者支援団体の活動に対する助成事業
10. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

# アイセンター構想



基礎研究

応用研究

臨床研究

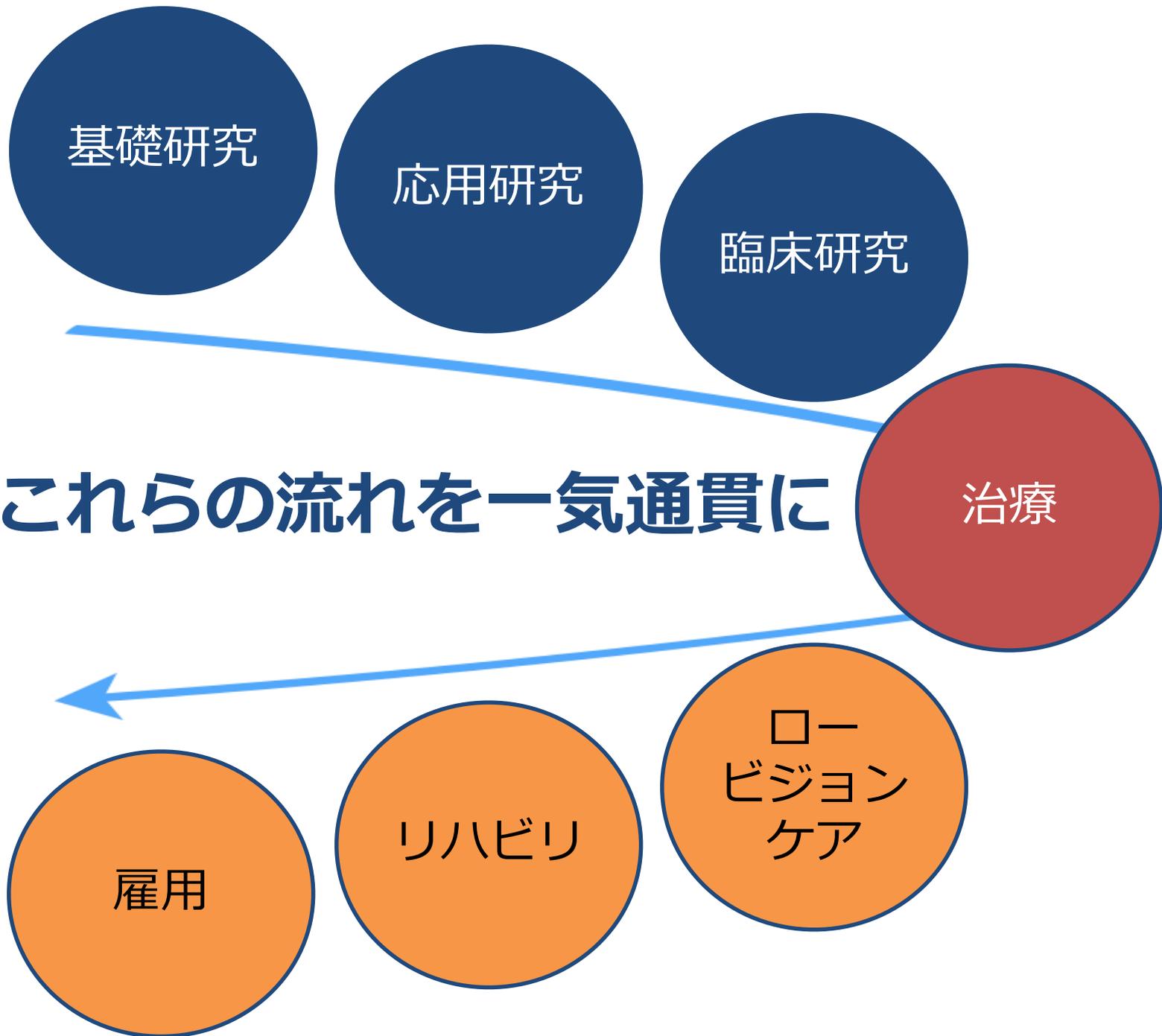
治療

これらの流れを一気通貫に

雇用

リハビリ

ロー  
ビジョン  
ケア



# アイセンター構想

世界へ

全国へ

アイセンター構想 神戸モデル

神戸アイセンター

企業

産業医

眼科医

カウンセラー

行政

市民

研究所

教育機関

病院

薬局

ロービジョンケア

患者団体

福祉施設

# 団体概要

- **団体名称** 公益社団法人 NEXT VISION
- **所在地** 神戸市中央区港島南町2-1-8  
神戸アイセンター 2F
- **連絡先** 078-304-4455 / info@nextvision.or.jp
- **代表理事** 三宅養三  
(愛知医科大学理事長・名古屋大学名誉教授)
- **理事** 高橋政代  
中邑賢龍  
栗本康夫  
仲泊 聡  
大胡田誠  
初瀬勇輔
- **設立年度** 平成26年8月
- **沿革**
  - 平成26年8月 一般社団法人設立
  - 平成26年12月 公益社団法人へ移行

# 代表理事 三宅養三

## 略歴



### ■ 略歴

1942(昭和17)年生まれ。1967(昭和42)年に名古屋大学医学部を卒業し、翌年、名古屋大学眼科入局。1976(昭和51)年から米国ハーバード大学に3年間留学。1986(昭和61)年に名古屋大学眼科助教授、1997(平成9)年から名古屋大学眼科教授を務め、2005(平成17)年に国立感覚器センター所長に就任。2007(平成19)年に愛知医科大学理事、2009(平成21)年に愛知医科大学副理事長、そして2010(平成22)年より理事長に。網膜機能研究の国際的権威。2000(平成12)年より4年間、国際臨床視覚電気生理学学会 (ISCEV)の理事長を務めた。三宅病の発見など多くの業績を残し、多数の国際賞を受賞。

### ■ 受賞

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1992(平成4)年  | 日本眼科医会学術振興助成            |
| 1994(平成6)年  | Alcon Award             |
| 1998(平成10)年 | 読売東海医学賞                 |
| 2002(平成14)年 | 日本眼科学会賞                 |
| 2005(平成17)年 | 日本眼科学会特別貢献賞             |
| 2005(平成17)年 | 日本医科器機史研究賞              |
| 2005(平成17)年 | Pfizer Ophthalmic Award |
| 2005(平成17)年 | 盛賞 (日本網膜硝子体学会・学会賞)      |
| 2005(平成17)年 | De Ocampo Award         |
| 2007(平成19)年 | 日本眼科学会評議員会賞             |
| 2010(平成22)年 | ISCEV Adachi Award      |
| 2013(平成25)年 | Miyake Medal            |

# メッセージ

20年以上にわたり行ってきた網膜の再生医療研究が、網膜色素上皮細胞の臨床研究という形で一步を踏み出し、今後も視細胞移植などさらに研究を継続していきます。同時に、私が再生医療と同じくらい重要だと考えているのが**ロービジョンケア**です。

**ロービジョンケア**は、視覚障害者の就労・就学、そして生活の質を一変させる可能性があり、その効果は治療に匹敵するものだと考えています。

私は再生医療を含む**治療とロービジョンケアを一体化し**、これまでにない支援・サービスを展開する**新しい形のロービジョンケア**をNEXT VISIONが実現し、視覚障害のイメージを一新することを期待しています。NEXT VISIONがすべての見えない・見えにくい方々に寄り添い、支え、人生をまるごと応援できるよう、私もお手伝いしたいと思います。

設立発起人・理事 高橋政代

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター  
網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー  
京都大学大学院 医学研究科 連携大学院講座 客員教授  
京都大学 iPS 細胞研究所 アドバイザー

